

10月3日

新「自民」と一宿皆田

安倍・菅政権の継続か、政
權交代で新しい政治をつくる
かが問われる総選挙で日本維
新の会は『改革者』をアピーリ
していますが、実態は自公
政治の悪政を後押しする最悪
の補完勢力です。この間の維
新役員の発言からもそれは明
瞭です。

松井一郎代表は「僕はもと
もJCPの地方議員（大阪
府議）。大きい方向性、政治
理念、そこはJCPとあまり
大きく差はない」（25日）と述
べていますが、実態は自公
が選事費をGDP（国内総生
産）1%枠ことじめの路線を
破って2%への重拡を主張し
ているのに対し、「（選事費の
GDP比）2%が大井だとは
思っていない」（15日）と述

べ、際限のない大軍拡をお
こなします。

昨日、鷹揚伸幸幹事長は「自
民党が過半数割れして政権運
営ができなくなれば、自民党
と一緒に國のかじ取りに参画
していくことはあり得る」
(15日)と自民との連立に意
欲を示しています。

戸田均政調会長は、自民党
が選事費をGDP（国内総生
産）1%枠ことじめの路線を
実行されたのか疑問だ。小泉
以降、新自由主義的な政策が
実行されたのか疑問だ。小泉
政権で閣僚を務めたが、そつ
認識したことはほとんどない」と述べ、格差と貧困を拡
大させたいことに無反論です。